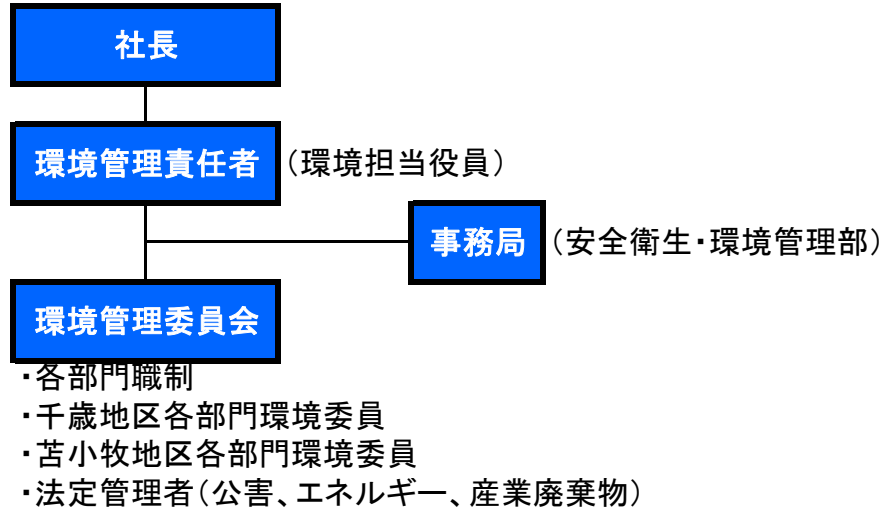


環境マネジメント

環境マネジメント体制

当社では、環境管理責任者が委員長を務める環境管理委員会を中心とした環境マネジメント体制を構築・運用しています。



環境管理委員会

環境管理委員会は四半期毎の定期開催に加えて必要に応じて臨時で開催しており、方針や目標の協議・審議、計画の進捗確認や情報の共有、課題の解決に取り組んでいます。

環境ポータル

環境方針・目標・計画、実績データ、社内規定規則類をイントラネット上で公開し、社内の誰もが環境情報にアクセスできる仕組みを整えています。

15 方針・目標・計画

○当社の環境方針は[こちら](#)からご覧ください。

○全社環境目標 [環境目的・目標一覧表](#) 向こう3年間の目標値を定めたものです。
[全社環境実行計画書](#) 目標を達成するための全社的な実行計画を定めています。

○部門環境目標 [部門環境実行計画書兼実績報告書](#) [上期](#) [下期](#)
(各部門毎の半期の計画・実績を閲覧することができます。)

実績データ

○省エネ実績データ [エネルギー使用量実績管理表](#)
各部門・用途毎に毎月のエネルギー使用量(原油換算)の実績・前年比を確認することができます。

[ライン別使用エネルギー明細](#) [千歳地区](#) [苫小牧地区](#)
生産ライン別の、毎月のエネルギー使用量が種類別(電気・ガス等)に確認できます。

[ライン別エネルギー原単位](#)
生産ライン別に、毎月のエネルギー原単位を確認することができます。
※エネルギー原単位=原油換算エネルギー使用量÷ライン別良品数

○廃棄物実績データ [廃棄物集計表](#) 全社および部門別の廃棄物および有価物の発生量を月別に確認することができます。
また、各製造部毎の廃棄物原単位(廃棄物量÷生産数)も確認することができます。

環境マネジメントシステム(EMS) 規定類

環境管理に関する社内のルールは[こちら](#)からご覧いただけます。

一覧から探す (文書の種類や番号がわからない場合はこちらが便利です)
⇒ [☆環境文書体系\(1次,2次,3次文書目次\)](#)

フォルダから探す
⇒ [1次文書](#) (マニュアル)
⇒ [2次文書](#) (規定)
⇒ [3次文書](#) (基準・手順等)

運用管理情報

ここからは、日々の環境管理に関連する各種資料



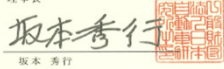
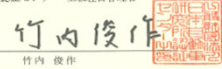
○排水管理 [苫小牧総合排水データ](#)
(管理基準: K-8101-AC排水管理基準)

○フロン機器 [フロン類使用機器管理表](#)
(管理基準: K-8101-AMフロン類使用機器管理表)

○緊急事態対応 [各部門の緊急事態対応手順](#)

ISO14001認証

当社は、2001年5月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。2019年には、ISO14001-2015年版への移行後初の更新審査が行われ、認証更新を果たしました。

	
<h3>登録証</h3>	
登録番号: JAER0242	
株式会社ダイナックス	
北海道千歳市上長都 1053 番地 1	
登録範囲: 乗用車・商用車並びに産業用・建設機械用・船舶用の履式摩擦材・プレート等、 摩擦機能部品の製造、販売	
適用規格: ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015	
貴事業所の環境マネジメントシステムは当認証センター による審査の結果、適用規格に適合していることが 認められましたので、ここに登録します。	
登録範囲の詳細	
・千歳地区: 北海道千歳市上長都 1053 番地 1 【 乗用車・商用車並びに産業用・建設機械用・船舶用の履式摩擦材・プレート等、 摩擦機能部品の製造、販売及び事業の中央管理機能 】	
・苫小牧地区: 北海道苫小牧市字柏原 6 番地 183 (第一金属株式会社 苫小牧工場を含む) 【 乗用車・商用車並びに産業用・建設機械用・船舶用の履式摩擦材・プレート等、 摩擦機能部品の製造、設計、商品開発機能 】	
・静岡営業所: 静岡県富士市荒田島町 6-20 番地	
・名古屋営業所: 愛知県安城市三河安城町 1 丁目 16 番 5 【 乗用車・商用車並びに産業用・建設機械用・船舶用の履式摩擦材・プレート等、 摩擦機能部品の営業 】	
初回登録: 2001年5月15日	発行日: 2019年5月15日
更新登録: 2019年5月15日	発行番号: 0242P-01
有効期限: 2022年5月14日	
一般財団法人 日本自動車研究所 東京都港区芝公園 1 丁目 8 番 12 号	
理事長  坂本 秀行	認証センター 上級経営管理者  竹内 俊作